

重要

# 水稻温湯消毒種子 の取扱のポイント

発行 平成28年3月5日  
JA北ひびき  
上川農業改良普及センター  
士別支所

本年は積雪が多いため、融雪が遅れることが予想されます。浸種開始を急ぎすぎないように注意しましょう。また、27年産種子は26年産より小さい傾向にあるので、は種量の設定には注意しましょう。

## ① 準備

- 作業計画をしっかりと立てましょう。
- 経営規模が大きく、は種作業に日数を要する場合は、浸種を複数回に分けて行ないましょう。
- 食酢を使用する場合は、早めに準備しましょう。

## ② 種子の留意点

- 27年産種子は26年産より小粒傾向です。は種量に注意してください。
- 浸種日数は長くても9日間を限度としましょう
  - 「ばか苗病」や「いもち病」の蔓延を防ぐため、自家採種種子の使用・混用は絶対にやめましょう。

## ③ 種子取扱

- 脱水種子(非乾燥)では前日から浸種の水をつくり、受取後はただちに浸漬してください。
- 乾燥種子は冷暗所で保存して下さい(15℃以上にはしない)。
- ネットの色で品種をよく確認して下さい

適正な浸種で  
確実な出芽を  
11~12℃ 7~9 日間  
水交換2日に1回、浴比1:2  
例:種もみ100kg(約200L)  
に水200L

## ④ 催芽時 ほか

- 循環式催芽器を使用する場合は食酢を併用してください。(酸度4.2%の穀物酢を50倍で)
- 浸種温度を上げると、催芽時間が短縮されることがあるので注意。
- 時々催芽状況を確認して催芽時間を調整し、発芽を揃えましょう。
- 今年から新しい方法を始める場合は、事前に試運転をしましょう

	浸 種									催 芽			は種
	浸種開始	+1日	+2日	+3日	+4日	+5日	+6日	+7日					
月日	/	/	/	/	/	/	/	/			/	/	/
月日	/	/	/	/	/	/	/	/			/	/	/
水の交換			●		●		●						
水温	11~12℃(水温の変化がないように)									30~32℃			

→ 作業前に「JA北ひびき温湯消毒種子取扱マニュアル」を必ず読みましょう。